

はくとのはくと

Shinkomonji Hospital

TAKE FREE 

ご自由にお持ち帰り下さい。

2015.7

Vol.34

特集

脊椎の主な役割と手術方法

脊髄脊椎外科治療センター長兼脊髄脊椎外科部長
高橋雄一医師

かかりつけ医紹介⑧
内科・消化器内科・リハビリ
鵜木医院

大里南校区・親孝行ぶりを称えられた
新九郎夫妻の碑

入院中の食事の管理・栄養指導・相談
管理栄養士のお仕事

エコノミークラス症候群
深部静脈血栓症について

トピックス I&II
第41回学術講演会
ふれあい看護体験
美化活動
施設参加型研修



患者様の病態に応じて、保存的治療を含めたより適切な治療法を

たか はし ゆう いち
脊椎脊椎外科治療センター長兼
脊椎脊椎外科部長

高橋 雄一

Profile

学歴
徳島大学医学部医学科 卒業

職歴
社会医療法人財団 池友会
新小文字病院 脊椎脊椎外科
中村記念病院 脳神経外科
佐賀大学医学部付属病院脳神経外科
社会医療法人財団 池友会
新小文字病院
脊椎脊椎外科治療センター長兼
脊椎脊椎外科 部長

資格
日本脳神経外科学会 専門医・指導医
日本脊椎外科学会指導医

1

脊椎脊椎疾患はほとんどが加齢による変性が原因

脊椎の主な役割は、脊椎の中央を通る神経を守ること、体幹を支えて姿勢を維持することです。脊椎脊椎疾患はほとんどが加齢による変性が原因であり、高齢化に伴い治療を必要とする患者様の数は増加傾向にあります。代表的な疾患としては、頚椎症性脊髄症、腰部脊柱管狭窄症、骨粗鬆症性椎体骨折、椎間板ヘルニアなどがあります。また、これら以外にもけがによる椎体骨折や脊髄損傷などの疾患もあります。治療法として、低侵襲手術（体に負担の少ない手術）が次々と開発され、注目されています。

2

手術用顕微鏡を使用した低侵襲手術

当院では、頚椎、胸椎、腰椎のほぼ全ての手術において、手術用顕

微鏡を使用した低侵襲手術を行っております。この手術用顕微鏡は

脳深部の微細な神経や血管を扱う脳神経外科手術で使用されているものです。脳から連続する重要な神経組織を操作する上で、より深部まで繊細に確認できる手術用顕微鏡は脊椎脊椎手術をより安全に正確に行うためには大変有用であり、また顕微鏡手術であれば手術中に予期せぬトラブルが起きたとしても適切に処置することができるという利点もあります。

3

より安全で確実な手術ができるような設備

手術においては、皮膚切開や筋肉損傷をできるだけ最小限にするよう心がけており、顕微鏡を使用した除圧術に加え、固定術においても最少侵襲脊椎安定術MIST (Minimally Invasive Spine Stabilization)を2008年より他院に先駆けていち早く取り入れ治療を行っております。MISTや椎体骨折における椎体形成術BK P (Ballon Kyphoplasty)においては、X線透視装置を正面、側面同時に使用することで (Double Cam)、より正確に短時間で手術することができるよう、患者様に対



手術実績

症状が進行している場合や保存的治療で効果が得られない場合には、治療法の選択肢の一つとして手術があります。手術のメリットとしては、病変を根本的に治療できることですが、体に直接侵襲（しんじゅう）が加わることで、危険性を伴うというデメリットもあります。全ての手術で100%よい結果が得られれば理想的ですが、現実的にはそのようにはいかず、ごく稀に術中または術後に予期せぬトラブルや合併症が起こることもあります。仮にそのようなことが起きたとしても、多くの場合は適切に対処

することで、特に後遺症などが残ることはありませんが、ごく稀に不可逆的なことが生じてしまうケースもあります。当院ではこのような予期せぬトラブルや合併症を真摯に受け止めて、その原因を追究し、減らす努力をすることがよりよい治療につながると考えております。手術を受けられる患者様にも、手術によるメリットとデメリットの両方を知っていただきたく、当院では手術件数とともに、術中または術後に発生した合併症の件数についても弊院のホームページに掲載しております。

4

可能なかぎり早く手術日程を調整

当院では、より安全で正確な治療を重視し、限られた方法で治療するのではなく、患者様の病態に応じて保存的治療を含めた、より適切な治療法を選択し、手術が必要な患者様にはなるべくお待たせしないよう、できるだけ早く手術日程を調整するように心がけております。

脊椎脊椎外科のことをもっと詳しくお知りになりたい方へ

インターネットで「新小文字病院」と検索しますと、ホームページが表示されます。その面の脊椎脊椎外科をクリックしますと、「脊椎脊椎外科（脊椎脊椎治療センター）」の面が表示され、その面の下方に「脊椎脊椎治療センター特設サイトはこちらへ」と案内がありますので、それをクリックしますと「脊椎脊椎外科治療センター 脊椎脊椎外科治療の最先端をめざして」の面が表示されます。その面には6つに分割された項目がありますので、それぞれお知りになりたい項目をクリックしますと詳しく紹介している画面が出ますので、ぜひご覧になって下さい。

肺炎や喘息の重症発作、敗血症が懸念される腎盂炎、吐血など緊急を要する患者さんが受診された場合、新小文字病院連携室へ連絡すると救急的な対応を早く引き受けて頂き大変助かっております。また、かかりつけ患者さん達も新小文字病院が24時間対応して頂くおかげで、当院の休診時間帯も安心して過ごされているようです。

新小文字病院との連携について

当院は、「病気の治療」、「病気の予防」、「在宅医療」を3本柱に、地域のかかりつけ医としてトータルな医療を提供する内科診療所です。消化器病や生活習慣病（糖尿病・高血圧等）を中心とした専門的医療と、風邪や体調が悪いなどプライマリケアにはじまる総合的医療をバランスよく実践し、専門医療機関との連携強化により最善の医療が提供できるクリニックを目指しております。

クリニックの特徴・特色を教えてください。



当院の周辺地域は急速に高齢化が進んでおり、これからは介護医療や在宅医療がますます重要になってくると予想されます。新小文字病院との連携を強化し、訪問リハビリとも協力しながら在宅医療を充実させていくことができればと思っております。

今後の目標



趣味や過ごし方についてもありませんが、映画鑑賞（ホラー系以外の洋画、邦画何でも）、大相撲観戦（本場所中はBSで幕下から観戦しています。九重部屋の後援会員です）、音楽（ジャズポップス系のアルトサクソフ演奏）で休日を過ごしております。

趣味や過ごし方について

興味というほどのものもありませんが、映画鑑賞（ホラー系以外の洋画、邦画何でも）、大相撲観戦（本場所中はBSで幕下から観戦しています。九重部屋の後援会員です）、音楽（ジャズポップス系のアルトサクソフ演奏）で休日を過ごしております。

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:30	●	●	●	●	●	●
午後 2:00~5:30	●	●	／	●	●	／

日曜・祝日休診 水曜日午後・土曜日午後休診
内科・消化器内科(胃腸内科)・リハビリ

内科・消化器内科・リハビリ
鵜木医院

〒800-0054 福岡県北九州市門司区社ノ木1-15-7
☎ 093-371-2015



院長 **鵜木秀明**

大里南校区



戸の上山を背にして響灘の方角へなだらかに傾斜している丘陵地に大里南校区は位置しています。

新九郎公園



(説明碑)

大里地区は旧跡や名跡も多く、今から830年も前、ほんのわずかの間ながら、安徳天皇が住まれた内裏が現在の大里になったと言われているほか、梅の木小路、柳町、桃山町などの町名もその名残ではないかと言われています。

その他にも、九州、山口地方における布教の拠点とした浄土真宗の「鎮西別院」や新九郎公園内には、江戸時代に親孝行で藩主から二度も表彰された「新九郎夫妻の碑」のほかに、市民センター敷地から「原町別院遺跡(堅穴住居跡等)」が出土しています。

その中で、今回は「新九郎夫妻の碑」をご紹介します。新九郎公園は大里南校区の中心に位置するところにあります。公園内は三段の地に分かれており、その真ん中の地に「孝子新九郎夫妻雙孝子碑 伯爵小笠原長幹」の大きな石碑があり、その石碑に向かって左側に説明碑、右側に北九州市教育委員会による石碑の説明文のモニュメントが設置されています。

石碑は江戸時代の「新九郎夫妻」が行った親孝行ぶりを称え、大正



(新九郎夫妻の碑)

7年に建立されました。碑の題字は小笠原の当主小笠原長幹の書によるものと説明されています。

新小文字病院からは、国道3号線を門司駅の方角へ100メートルほど歩き、最初の信号機を右折し山の方角へ、そのまま車が一台通れるほどの一方通行の細い道を150メートルほど歩けば新九郎公園に着きます。所要時間は病院から徒歩で5分程度のところ。ぜひ一度、お立ち寄りされたいかがでしょうか。



新九郎公園ってどんなところ

新九郎公園は大里南市民センターの隣地にあります。夕方になると、若いお母さんに連れられたお子さんや小学生の子供たちが、三々五々集まり、ブランコやすべり台、キャッチボールなどを楽しんでいます。

また、夏には毎朝ラジオ体操や冬にはどんど焼きなど校区の年中行事も行われています。

さらに、公園内に四季の花がきれいに植えられ咲いていて、心む場所ですので近くにお越しの折にはお寄り下さい。

管理栄養士のお仕事



▲土用の丑の日



▲七夕

入院中の食事の管理

私たち管理栄養士は、医師の治療方針に基づき一人一人の患者様に適した食事をご提供していくことを、常に心がけています。食欲の無い方には病室を訪問し、その時の状態に応じて食べやすく、工夫した食事をお召し上がりいただくようにしています。さらに、患者様の嗜好にそった、喜ばれる食事をご提供するために、栄養士と調理員が一丸となって日々努力しています。

また、患者様の食事にも季節感を味わいながら、楽しんでいただけますように、月2回ほど行事食をお出ししていますのでご紹介します。

栄養指導・相談

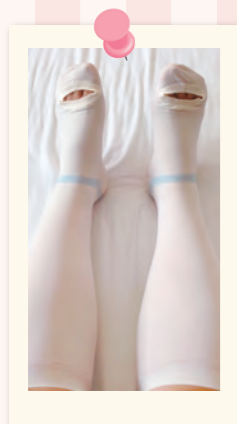
糖尿病、脂質異常症、高血圧、肥満、心疾患、ミキサー食の作り方など、様々な疾患に応じた栄養指導や相談を行っています。入院中の方、外来通院中のいずれの方にも実施しておりますので、お気軽に声をおかけ下さい。

写真は、七夕と土用の丑の日にお召し上がりいただいた行事食の見本です。

エコノミークラス症候群 深部静脈血栓症について

長時間同じ姿勢で過ごす事や、心臓の機能の低下、脱水、肥満、脂質異常症などが原因となり、足などに血の固まり(血栓)が出来、血栓が肺などに飛んでしまう病気です。

当院では、長い時間寝た状態で過ごす必要のある方や、リスクの高い方に弾性ストッキングの着用、足にフットポンプをつけ、マッサージする事で深部静脈血栓症の予防を行っています。



当院の売店でも販売しています。ドラッグストア等でも購入することができます。

予防方法

- ・こまめに水分補給をする。
- ・深呼吸をする。
- ・足や足の指をこまめに運動する。
- ・1時間に1度は足踏み運動をする。
- ・足首から膝に向かって、ふくらはぎをマッサージする。
- ・弾性ストッキングを着用する。



・グッとにぎる

・パッとひらく



第41回 学術講演会



新小文字病院第41回「学術講演会」が6月17日、小倉北区のホテルクラウンパレス小倉で開催され、当院の職員や地域の医療関係者の340人が、近い将来に増加することが予測される認知症に関する講演を熱心に聴講しました。

第一部の講演会は当院内科 戸田未来雄医師が「認知症に関するアンケート集計結果報告」をテーマに「看護師へのアンケート結果を分析し、今後の対応策」などを講演。特別講演を東京・原宿リハビリテーション病院・関東統括特別顧問 山田達夫先生による「地域ぐるみの認知症予防について」をテーマに「認知症をどうやって予防するのか、また、どんな治療法があるのか」などの有意義な講演が行われました。

また、第二部の懇親会でも活発な意見交換が行われました。当院は、学術講演会の後援事業の柱は二つあると思っています。一つは医療の各分野の専門家を講師として招き、自病院のレベルアップを図る事業。もう一つは地域の医療関係者と特色ある最新の医療を「情報共有」する事業だと考えて実施していますので、今後も医療に携わるの方々のご参加をお願いします。

ふれあい看護体験



地域の皆様方をお招きして、看護や医療安全の取り組みなどを体験していただく「ふれあい看護体験」が5月20日、新小文字病院で行われました。

これは、地域に暮らす人々と病院との「連携」を図る取り組みの一つであり、年に一度の「看護の日(毎年5月12日)」にちなんで行われています。

参加された方々は、「この年でナースキャップをつけるとは思いませんでした」と、はにかみながらも、懸命にケアする看護師の姿に興味を持って見学され、熱心に質問をされていたのが印象に残っています。また、「医療に携わる看護師達の考え方や心構えなどを聞くことができ参考になった」という感想などをいただきました。

第3回 美化活動について

第3回、病院周囲の美化活動を5月19日に実施しました。第1～2回目は天候が悪く今回も心配されましたが、からりと晴れた日で、汗ばむほどでした。

この美化活動は、昨年の6月の安全衛生委員会で、「院内の美化だけでなく、病院の周囲の美化も行ってはどうか」という声が挙がり、昨年の7月より年2回を目標に始めました。

回を重ねるごとに職員の美化意識が向上し、参加者は100人を超えました。当初は参加者が少なく、敷地内のみでしたが、今回は、病院前の歩道も清掃することができました。

勤務終了後に一斉に清掃が始まると各自が自主的に雑草取りや、カン、瓶、ガラスの破片などを拾い、30分で終了しましたが、普段はなかなか目が行き届かない場所も含まれ、とてもきれいになりました。昨年より若干少なめでしたが、ゴミや雑

草が30袋ほど集まりました。

また、院内美化活動で、職員の環境美化やボランティア精神が高まりつつあります。職員が一つになって美化活動を行っている姿がとても印象的でした。



基本方針

高度医療

学問的に、技術的に高い水準の医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。

総合医療

患者様と医療情報を共有し、急性期治療から早期リハビリ、在宅医療まで一貫した、患者様のニーズに沿った安全で安心できるチーム医療を提供します。

地域医療

地域の医療・福祉施設と密接な連携を図り、いつでも誰でも安心して利用できる、救急医療に重点を置いた地域医療の中核病院を目指します。

患者様の権利

1. 平等な治療を受ける権利

患者様は、その社会的・経済的地位、国籍、人種、宗教、年齢、病気の種類によって差別されずに、平等な治療を受ける権利を持っています。

2. 治療を自己決定できる権利

患者様は、医師による明確でわかりやすい言葉で十分な説明を受けた後で、治療を受ける権利、あるいは治療を受けることを拒む権利があります。

3. 情報を知る権利

患者様は、医師による診断・治療、または変わり得る治療方法・予後、今後予測される問題に関して知る権利を持っています。

4. セカンドオピニオンを受ける権利とプライバシーが守られる権利

患者様は、自分の医療内容に対して、医師と共同して選択する権利、他の医師からの意見・相談を得る権利、いかなる場合であっても人格的に扱われ、患者様自身の診療に関する全てのプライバシーに関して、万全の配慮を受ける権利を持っています。

5. 相談する権利

患者様は、十分な情報を得、利用可能な財政的支援について相談する権利を持っています。

6. 良質な医療を速やかに受ける権利

患者様は、効果的医療行為を速やかに行われることを要求する権利、継続的に支持、検討された質の高い医療を受ける権利を持っています。

トピックスⅡ

施設参加型 研修



地域の医療・介護施設の職員を対象にした、今年度の「施設参加型研修会」の第1回目は「安全管理～転倒・転落について～」をテーマに、参加者18施設33名で5月28日に。第2回目は「BLS（一次救命処置）」を16施設31名で6月17日に、いずれも当院の研修室で開催しました。参加者は病院と施設の違いを感じながらも熱心に聴講されていました。

また、参加者から「転倒が起きた後の観察に関して、不十分なところがあった」「二度と同様の事故を起こさないためにはどうしたら良いか、一つ一つの事例を検証することが大切だと共感した」「急変時の対応として、まず人を呼び慌てずBLSを行う事」などを知ることができて、参考になりましたなどの話がありました。

研修会は4月を除き、毎月1回実施していますが、各施設の職員の方にも研修会の趣旨が浸透し、毎回、参加者が増えております。特に第2回目のテーマには参加者が多く、2度に分けて実施することになりました。

今後も様々なテーマで研修を企画しておりますので、ご案内の際は、ぜひ、ご参加をお願いします。

今後の研修会

8月27日(木)	褥瘡について2-① ～褥瘡予防と早期発見・対処法～	皮膚創傷ケア認定看護師
9月24日(木)	褥瘡について2-②※同一内容 ～褥瘡予防と早期発見・対処法～	皮膚創傷ケア認定看護師
10月7日(水)	感染対策について2-① 正しい手洗い方法と手洗いチェック	感染管理担当看護師

診療科目ご案内



内科・循環器内科・消化器内科
呼吸器内科・外科・呼吸器外科
整形外科・リウマチ科・形成外科
皮膚科・泌尿器科・放射線科
脳神経外科・脊髄脊椎外科・救急科
病理診断科・リハビリテーション科・麻酔科



Access map



社ノ木一丁目バス停留所から徒歩1分

駐車場のご案内

ご来院の際は400台
収容可能な駐車場をご利用ください。

- 外来者 / 手術付添 / お見舞い (家族・親戚)
4時間まで100円・以降1時間毎に200円
- 業者・お見舞い (一般)
1時間まで100円・以降1時間毎に200円

新小文字病院を 身近に感じる広報誌

Vol.34

2015年7月15日発行

企画：社会医療法人財団池友会

新小文字病院 広報委員会

〒800-0057

北九州市門司区大里新町 2-5

TEL：093-391-1001

FAX：093-391-7001

E-mail：info@shinkomonji-hp.jp

http://www.shinkomonji-hp.jp

新小文字病院

検索

Design

NPO 法人列島会
創造館クリエイティブハウス 印刷事業部